

TOKYO

TAKIKAWA

東京滝川会だより

第53号

平成23年2月発行

〈事務局〉

滝川市大町1丁目2番15号

滝川市経済部商工観光課

TEL 0125-23-2716 FAX 0125-23-5839

E-mail kougyou@city.takikawa.hokkaido.jp

URL <http://www.city.takikawa.hokkaido.jp>

お帰りなさい！横綱白鵬関

昨年六月、滝川市観光大使に就任いただいた第六十九代横綱白鵬関が、一月、再び来滝されました。

一日は四場所連続一六回目の本場所優勝と六二連勝を祝う祝賀セレモニーが行われました。



来場者とふれあう横綱白鵬関

横綱白鵬関は市内外から集まった五〇〇人を超えるファンに囲まれ「ただいま」とあいさつ。会場からは「お帰りなさい」という声が上がりました。「秋場所に市長をはじめとする応援団が来てくれて大変力になった。みなさんの応援があったからこそ連勝することができた」と話していました。

横綱白鵬関には連勝記録にちなんだ六二本のバラの花束と「六二」と電球であしらった特製ケーキがプレゼントされ、満面の笑みで会場の声援に応えていました。

また、祝賀セレモニーに先立ち、六月の大使就任時に滝川市から贈られた羊（雌）と対面。羊の頭をなでながら「たくさん子どもを生んで市民に愛される羊になってほしい」と話していました。この羊の名前は公募の結果、「ハイル（モンゴル語で『愛』の意味）」と名付けられました。



羊と対面する横綱白鵬関

翌一日、秋の収穫祭&地産地消費フェアに出席。会場で餅つきをするなど、訪れた三、〇〇〇人以上のファンらと

ふれあいました。

また、六月に自ら田植えをした「白鵬米水田圃場」で収穫されたお米「ななつぼし」六〇〇kgが贈呈され、横綱白鵬関の意向でモンゴル国ウランバートル市、日本相撲協会相撲教習所、滝川市の三者に分けられ、贈呈されました。



贈呈された白鵬米

試食した横綱白鵬関は「ねばりがあっておいしい。こんなお米がモンゴルでも作れたら」と話していました。残念ながら連勝記録は六三で止まっていますが、若い横綱白鵬関にはまだまだチャンスがあります。最多優勝記録と連勝記録の更新に向けて応援していきましょう。

東京滝川会総会を開催

東京滝川会総会を平成二二年一〇月二三日にアルカディア市ヶ谷で開催しました。最初に平成二一年度の事業報告と決算報告並びに理事の溝口勲氏、監事の故菅原務氏の退任が報告されました。続いて平成二一年度事業計画案・予算案の審議を行い、新監事に田島良子氏を選任し、すべての議案が承認されました。



玉置副会長のあいさつ

引き続き行われた懇親会では、欠席した大川会長に代わり玉置副会長が「楽しく情報交換し、滝川の発展につなげよう」とあいさつ。来賓の末松滝川市副市長からは「滝川では横綱白鵬

関が滝川市観光大使に就任し、盛り上がっている」と近況が報告され、中田滝川市議会議長の乾杯により、なかなかムードで懇親会が始まりました。



会場の様子。今年は椅子席となりました

会場には田村滝川市長提供の金滴酒造の純米酒をはじめ、おかだ製菓のモンモオ、花月堂松尾製菓の滝川旅情、野上菓子舗の金滴地酒ケーキなど滝川の銘菓も並び、懐かしいふるさとの味を堪能されました。

続いて余興として滝川出身の落語家・春風亭鯉枝師匠による新作落語のミニ独演会が行われ、会場は大きな笑いに包まれていました。

ふるさと産品が当たるビンゴゲーム大会も行い、地元の農産品セットや松尾ジンギスカンギフトセット、はちみつ、お米や滝川産なたね油などたくさん景品を皆さんにお持ち帰りいただきました。

最後に増田副会長による結びのあいさつで閉会となり、参加記念品として江部乙産のりんごやサッポロビール提供のビールなどをお土産にお持ち帰りいただきました。

一の坂同窓会からの寄付

平成二二年一月二三日に惜しまれつつ解散した「滝川一の坂同窓会」より、東京滝川会にご寄付いただきました。

一の坂同窓会は昭和四四年に北海道

庁立滝川中学校、滝川町立夜間中学校、北海道滝川高等学校、北海道滝川西高等学校、北海道滝川工業高等学校の卒業生など関係者が集まって設立された会で、東京滝川会設立の際にもご尽力いただきました。

一月二九日に東京で寄付受領式が行われ、田村滝川市長の立ち会いのもと、解散した一の坂同窓会を代表して兼子春三氏より当会の玉置副会長、増田副会長に目録が手渡されました。

寄付額は四百六十四万七千五百八十八円。使途については役員会で協議し、一の坂同窓会のご期待に添うよう大切に使用させていただきます。



写真左より増田副会長、兼子氏、田村市長、玉置副会長

新・滝川市立病院完成

現在の市立病院隣地に平成二二年二月から建設を始めた、新しい市立病院が完成しました。



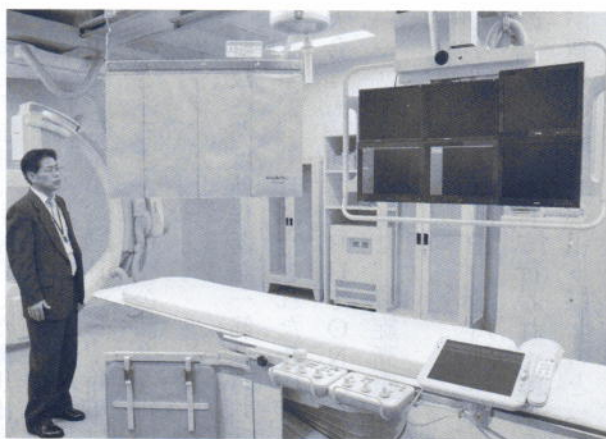
完成した新市立病院

新病院は地上七階建てで市内初の免震構造。個室を大幅に増やし、全体では一般病床二七〇床（うち個室七〇床）、精神病床四四床（同七床）とし、患者一人あたりのスペースをこれまでより広く設定、大部屋も最大で四人までとしています。

また、院内の空調設備を新設することで、冷暖房システムを新たに確立。夏場は涼しく冬場は暖かい療養環境を

実現します。

ほかにも最新の血管造影撮影装置や磁気共鳴画像化装置（MRI）などの医療機器も導入するなど、療養環境、機能性の向上などを目指した新病院は、三月一日から移転作業を行い、三月一六日に開院します。



導入された最新鋭の血管造影撮影装置

滝川にB・Bがやってきた

プロ野球北海道日本ハムファイターズのマスコット「B・B（ブリスキー・ザ・ベアー）」と北海道コカ・コーラボトリングのマスコット「QOO（クー）」が、二月四日、滝川市立二の坂保育所

を訪れ、体操や野球ゲームで子どもたちと交流しました。



B・Bの登場に大喜びの子どもたち

日本ハム球団と北海道コカ・コーラボトリングが共同で行う全道訪問事業の一環で、抽選で選ばれた幼稚園や保育所などを回っているものです。

B・Bが姿を見せると、子どもたちは大歓声でお出迎え。B・Bのピアノ演奏で合唱したり、音楽に合わせて体操したりしました。最後は一人ずつ、B・Bの声援を受けてトスバッティングにも挑戦しました。子どもたちは「B・Bはかわいい」「かっこいい」と大喜びでした。

市庁舎に太陽光パネル

滝川市では庁舎の電気料金削減と二酸化炭素の削減による地球温暖化防止を目指して、庁舎南側の壁面にソーラー発電パネルを取り付けました。「市温室効果ガス削減計画」に基づく事業で、二三四枚のソーラーパネルを統一八メートル、幅六メートルに設置しました。壁面に設置することで、積雪の影響が少ないのが利点です。

パネル設置と同時に、庁舎内の室内用安定器具や蛍光灯を省エネ型に交換。これにより、庁舎全体の照明分電気使用量の約一五％をまかなうことができると見込みです。省エネ効果は年間約二万円、排出する二酸化炭素も約一トン削減できる見込みです。



庁舎壁面に設置された太陽光パネル

太郎吉蔵が市文化財に



photo by kozi sakai

平成二二年一月一日付で、「太郎吉蔵（旧五十嵐酒造店倉庫）」が滝川市指定文化財第七号に指定されました。この建造物は北海道軟石を使用した石造倉庫で、大正四年に営業を始めた五十嵐酒造店の貯蔵倉庫として、大正一五年に建築されました。民間で所有している建造物が文化財に指定されたのは滝川市では初めてです。この建物はJR滝川駅前に位置し、商業地として繁栄を誇った滝川の歴史を伝える貴重な

建造物です。

現在は当会会員でもある五十嵐威暢氏が代表を務めるNPO法人アートチャレンジ滝川が所有しており、多目的ホールとして活用されています。

鯉枝師匠里帰り公演会

総会の記事でも紹介した滝川出身の真打ち落語家・春風亭鯉枝（本名・渡利哲也）さんが、二月一日、昨年に引き続ききふるさと滝川で公演会を行いました。

鯉枝さんは新作落語一筋に打ち込む落語家で、一月に行われた新作落語の大会「第一回ZABUTON CUP 一一」で見事優勝し、凱旋高座となりました。

今回の公演は師匠の瀧川鯉昇さんとの「親子会」として行われ、鯉枝さんが新作落語「アパート探し」と「UFO研究会」、師匠の鯉昇さんが古典落語の「時そば」と「二番煎じ」を披露。古典と新作の対比も素晴らしく、会場は笑いの渦に包まれました。

鯉枝さんは昨年東京滝川会の総会に来ていただいたことが縁で当会に入会いただきました。今後のご活躍を期待

しています。



鯉枝さん（右）と鯉昇さん

たきかわナタネ生産組合が受賞

北海道開発局が地域活性化に貢献する活動をたたえる「わが村は美しくー北海道」運動第五回コンクールで、「た

きかわナタネ生産組合」（宮井誠一組合長）が、景観部門で特別賞、地域特産物部門で銅賞をダブル受賞しました。

同組合は平成二二年に一七八鈴、平成二一年に二一五鈴になったえを作付けしており、日本一の作付面積を誇っています。

黄金色のじゅうたんのよう美しい景観と、高品質のなたね油を生産し、付加価値をつけた「菜の花オニオンズ」などの商品化の取り組みが評価されました。

このコンクールは二年に一度開催されており、今回は全道二〇〇団体から二〇団体が選ばれました。

